

論戦と実行力で 県政をリード

改憲・消費税10%は 許しません



日本共産党滋賀県議会議員

- ・ 県議会環境農水常任委員会副委員長
- ・ 朝日漁業協同組合組合長
- ・ 湖北グランドゴルフ協会会長
- 長浜市湖北町今西 575 虎姫高校～名古屋大学経済学部卒
- ☎090-3050-8089
- http://sugimoto-toshitaka.com/

杉本としたか

県政
レポート
No.23

2018年11月

ゆがんだ県政 国体費用511億円が県民を圧迫

三日月県政は2024年の国民体育大会に511億円も投じるため、2026年には約900億円の大赤字。その穴埋めに582項目の歳出カットで県民のくらし・福祉を切りすてようとしています。しかも…

国体施設整備は不合理なことばかり

①陸上競技場整備での愚行

14haしかない彦根総合運動場に200億円をかけた巨大な新陸上競技場をつくるため、まだまだ使える県立のプール、テニスコート、陸上競技場、スポーツ会館を解体し、耐震改修したばかりの彦根市の体育館もこわします。

買収予定地で県費を投入して土地改良をおこない、その土地を買収しています。



②新県立体育館整備は1.5倍のムダ遣い

新県立体育館は、交通不便な大津市瀬田の滋賀医大の向かいの谷底に造るため、90億円の整備費。福井県では60億円でメインとサブの立派な体育館整備しました。滋賀県は、その1.5倍を投じます。

③草津市でのプール整備の混沌

県の2/3の費用負担で、草津市がプールを整備します。整備費用は当初、最大70億円としていたのに、草津市の計画は約100億円！「県の国体経費を軽減するために市町で整備」というそもそもの理由が破たんしています。

←野球場以外の全ての施設を破壊した彦根総合運動場

県民目線で是正を求める日本共産党県議団

道理が通らないことが多い滋賀県政。それを議会の中で批判するのは、日本共産党議員だけです。他党派の議員は、不合理を知りつつも予算にすべて賛成します。ゆがんだ県政と県議会を正すには、日本共産党県議を増やすことが必要です。



若者サポートに全力

★高校にエアコン設置を実現
★電気代の生徒負担もなくす
★トイレ洋式化も計画的に実施へ

県立大学の予算拡充
滋賀県立大学の充実をくり返し取り上げ、大学予算を増やし、授業料減免の拡大を実現しました。

給付型奨学金制度を提案
返還することのない奨学金制度を提案しています。



日本共産党の杉本県議は、若者がしっかり学び成長できる県政を求めてがんばっています。

**高校のエアコン・トイレ
県議会で初めてとりあげる**
高校のエアコン設置とトイレの洋式化を滋賀県議会で初めて取り上げました。



長浜市で初の
日本共産党県議
杉本としたか

県会議員の3つの仕事をしっかり果たす

安倍暴走政治に対決 一貫して県民本位つらぬく

請願・議案等	杉本	大橋	野田	川島
戦争法（安保法）の廃止	○	○	×	×
原発再稼働に反対	○	○	×	×
生活保護削減に反対	○	○	×	×
核兵器禁止条約を批准	○	○	×	×
TPP協定を許さない	○	×	×	×
養護学校の設置基準を作れ	○	×	×	×
国体経費を見直せ	○	×	×	×
スポーツの森プール存続	○	×	×	×

○賛成 × 反対

県政報告

杉本県議は議会があるたびに県政レポートを発行してきました。「県政のことがよくわかる」と長浜市全域から評価されています。過去に長浜市で、このようにいいねいな県政報告をしてきた県議はいませんでした。

県政をチェック

滋賀県政には、県民の理解が到底得られないことがいっぱいあります。これをきびしく批判するのは、日本共産党県議団だけで、他会派は黙認です。

巨額の国体施設整備を批判
2024年開催の滋賀国体に511億円を使います。財政破たんを避けるため県民の暮らしを守る施策をバツサリ削る「行財政改革」：杉本県議はこれを徹底批判しています。

障害者福祉をゆがめるな
これまで一度も認めなかった障害者の通所施設とグループホームの同時整

市民の声を届ける

杉本県議は毎議会、一般質問をおこない、県民の願いを実現するために全力をあげてきました。

高校エアコン整備に道を開く
3年前に県議会ですべて、県立学校のエアコン問題をとりあげました。県は「暑さ対策は扇風機で対応」としていたものを、連続して本会議でとりあげ、とうとう実現に道を開きました。

長浜ドーム出入口新設
4年前の初質問でとりあげ、県は「整備の予定はない」としていましたが、署名運動にとりくみ、議会ですべてとりあげ、2018年5月に実現しました。



「困ったら杉本県議へ」頼りになる相談相手

杉本県議は、県民の要望があれば、すぐに現場にでかけ、関係機関に働きかけ、信号機の改良、道路・河川の整備など数多くの問題を解決。長浜市内だけでなく、県下全域を駆けめぐっています。高島市・海津漁協組合長は「台風で大被害を受けた時、杉本県議は真っ先に来てくれ、支援の要望を県へ届けてくれました。頼りなる人です」と語っています。

4人の党市議と強力な連携



杉本県議と4市議が長浜土木事務所でお茶 10月22日

「なにごとくも相談すれば、杉本県議は積極的に動いてくれます。4人の市議と連携して市民のみなさんご要望に答えられます」（齊藤佳伸市議）

県立大学の授業料減免拡大
滋賀県立大学の充実を求め続け、大学予算を増やし、授業料減免を拡大しました。

「南高北低」問題を追及
スポーツの森プールの廃止について、「南高北低」を加速するとして反対。高校の全県一区制の是正、医師確保に県の責任を果たすことを求めてきました。

請願の86%を紹介
この3年半に、県民から県議会に出された請願は63件。日本共産党県議団は、そのうち54件、86%の紹介議員となりました。

ダム推進への転換を批判
自民党の圧力に屈して、大戸川ダムの推進に方向転換しようとしている知事をきびしく批判しています。

山奥の34億円道路整備を批判
丹生ダム建設中止に伴う地域整備事業で、余呉町菅並と中河内の県道整備に34億円投資することについて、「中之郷診療所の整備に回せば1000年分ある」ときびしく批判しました。

県議会ナンバーワンの発言力と発言数

長浜選出県議	会派	質問	討論	合計
杉本敏隆	日本共産党	15	18	33
大橋通伸	チームしが	9	4	13
川島隆二	自民党	2	0	2
野田藤雄	自民党	1	0	1

(2015年6月～2018年10月の滋賀県議会本会議)

節木三千代
日本共産党県議団長

杉本さんは、党県議団の理論政策活動の中心的役割を果たされています。県庁幹部や他党の議員さんもその言動に一目おいています。本当に頼りになる県議です。